

令和 4年度事業報告書

公の施設名称	おかざき自然体験の森
施設の設置目的、役割	良好な自然環境を保全しつつ、自然を活用した各種の体験を通じて環境教育の推進を図る（条例 第1条より）
施設の所在地	岡崎市八ツ木町池ノ上 10 番地
施設規模	敷地面積：41ha 建物面積：383.91 m ²
指定管理者	名 称：コニックス株式会社 所在地：名古屋市中村区太閤四丁目 6 番 22 号 代表者：代表取締役 吉田 治伸
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

指定事業については岡崎市直営時よりアレンジを加え、すべての事業を実施した。

学校の環境学習授業は2校（岩津小学校特別支援学級、常磐小学校3年生）、指定管理者独自のカリキュラムを作成し実施した。

市民活動団体のイベントに関してはすべての団体とコミュニケーションを密にとり今まで同様のイベントはもちろん、きこりの会の「植樹体験」等のバックアップを複数回協議をした上で実施した。

自主事業については春の風まつり、夏の水まつり、秋の里山感謝祭、年末の風物詩「すす払い体験」等四季折々のイベントを開催した。

森の教室、四季のまつり、森の歴史、昔ながらの農業体験、（稲作、さつま芋づくり、お茶づくり等）市民活動団体イベント、ボランティア活動等積極的に実施できた。

(2) 事業実施に対する自己評価

各種指定事業や環境学習授業に関しては当初は今までの実施方法を踏襲して実施したが岩津小学校の授業やホテル観察会以降体験の森独自の工夫を加え職員自らの企画で推進できた。

春の風まつり、夏の水まつり、秋の里山感謝祭、すす払い体験はすべて1から企画し来場者の大幅なアップにつなげることができた。今後はさらにブラッシュアップをし来場者増に貢献できるようにしたい。

6月のイベントの申し込みから岡崎市からの要請であった抽選方式を導入し参加者の平等性を担保できるようになった。

秋の里山感謝祭、植樹体験は市民活動団体との共催事業として新たな協働事業とすることができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

令和4年度の来場者は18,700名と前年実績の123%と大きく上回ることができた。5月より「森のクラフト」の有料施設利用がはじまり、体験の森ならではの「森のカルチャー」がスタートした。

後半は「ヨガと雅楽」「切り紙のワークショップ」等も定期的を開催するようになった。

管理棟での来場者受付では個人情報保護の観点より氏名記入を廃止し来場時間、人数、お住まい、施設の認知方法等をお伺いするようにした。「グーグルマップ」や「ホームページで知った」等の来場理由が思いのほか多数あった。

(2) 利用状況に対する自己評価

来場者受付の様式を変更したことで、施設の認知方法を知るきっかけができ、後半ではFaceBookやInstagram等のSNSを立ち上げたことから新たな来場者の創出ができつつある。

来場者やイベント参加者向けにアンケートを実施し、ニーズを把握し今後のイベントやプログラムの開発の参考にした。そのアンケートを基に指定管理者の提案書にも記載した「おかもりファミリークラブ」の概要が確立することができ、令和5年度より立ち上げることができる見込みである。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入	指定管理料—精算還付 (修繕、輸送費)	25,023,594
	利用料金収入	施設占有利用料収入	25,920
	事業収入	事業参加費等	94,530
	その他収入	施設の材を使った物販売上	139,978
収入 計			25,284,022
支 出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、消耗印刷費、修繕費、清掃等委託料、保険料等	19,871,861
	(うち修繕費・輸送費)	※精算項目	669,594
	事業費	事業に係る経費	107,954
	その他	本部経費、租税公課、当期剰余金等	5,304,207
支出 計			25,284,022
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

指定管理者初年度だが指定管理料及び利用料収入等の範囲内でスムーズな管理運営が遂行できた。

精算項目である修繕費についてはほぼ予算通りに運用できたが、学校関係の環境学習授業で利用する輸送費（環境教室バス経費）は開催回数が2回しかなかったため大きく乖離した。（約26万円の返還）…要因は学校関係へのアプローチが不十分だったことが考えられる。

利用料収入に関しては指定管理者導入に伴い施行された項目だが月を追うごとに利用件数が増えてきている。（予算対比は25%程度だが今後増加する見込み）

4 利用者アンケート結果

(1) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
2022年6月から11月	一般・イベント参加者 52件 教室 38件	一般 管理棟受付での声掛けによる収集、イベント参加者にアンケートのお願い。 森の教室に関するアンケート

※アンケート回答者には「おかざき自然体験の森」オリジナル缶バッジをプレゼントした。

(2) アンケート結果概要

アンケート内容

- ① プロフィール 性別・年齢・お住まい（市内・県内・県外）
- ② 来場者特性 来場回数・好きな場所・希望イベントプログラム
- ③ 職員・施設 職員の対応・施設に対するご意見
- ④ おかもりファミリークラブに関する質問 興味の有無・開催内容・曜日等
- ⑤ その他ご意見

※結果については別紙にて添付します。

(3) アンケート結果に対する自己評価

職員に対する評価は「満足」と「やや満足」で100%となっている。

もともと自然が好きな方が来場されているのか、施設に関してのご意見や要望はほとんどなかった。

※工作棟横のトイレ増築は大変好評である。

今後は当施設の認知媒体をもう少し詳しく調査する必要がある。

※施設の告知方法をもっと効率的に実施できるようにしたい。

「森の教室」参加者に対し、「おかもりファミリークラブ」に関する調査を実施して今後のプログラムを決定することができた。

5 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

公共施設ならではの公平性の担保と民間企業ならではの接客・接遇を心掛け、安心・安全・快適な施設運営を全スタッフで心掛けて運営できた。

また、施設内の市民活動団体の皆さんもサービス精神が芽生えてきたと思われる。来場者をお迎えするという意識で施設の安全・美化に努め、写真募集など来場参加型の企画も導入できた。

施設内の自然素材の加工品等をお値打ち価格（受益者負担）で来場者に提供できたこともサービス向上につながったと思われる。

※木炭、干しシイタケ、寒茶、もち米は人気商品になった。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

来場者に積極的にお声がけをすることによりニーズを把握することに努めた。

まだまだ、ここで何ができるか知らない来場者が多いため、管理棟内のレイアウトを変更し自然観察の呼びかけや販売品用の棚をもうけPRを強化したり、自由工作の材料を充実させた。

管理棟に来場した方はもちろん場内で散策している方にも積極的にお声がけするようにした。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

来場者のご意見に対しては真摯にお伺いし、岡崎市の所管課（環境政策課）に報告した。

指定管理者だけで対応できることは即、改善を実施し定例会等で岡崎市に報告した。

また、指定管理者だけでは対応できない事項については早急に岡崎市に報告し指示を仰ぐようにした。

おかげさまでこの1年は大きなトラブルは発生していないが、今後も市民及び来場者目線での運営を務めていく。